

# まほら

2020

2020年11月30日発行 通巻454号  
題字 薬師寺 高田好胤師

対談

## 新型コロナウイルス対策と 奈良の未来

対談 1

奈良市長

仲川げん氏

Gen Nakagawa

奈良青年会議所  
第61代理事長

森田洋平

Yohei Morita

対談 2

生駒市長

小紫雅史氏

Masashi Komurasaki

奈良青年会議所  
第61代理事長

森田洋平

Yohei Morita

森田洋平

於 法相宗大本山薬師寺

# 会員募集

## 入会資格

- ① 年齢が2020年12月31日現在、満20歳以上38歳以下であること。
- ② 奈良市内・生駒市・田原本町・山添村に、自宅ないしは会社(営業所・事務所など)があること。
- ③ 他の青年会議所に所属していないこと。
- ④ 青年会議所のメンバーとして人格・品位ともに優れていること。
- ⑤ 国籍は問いません。

## よくある質問

Q1. 仕事があり毎回参加出来そうにない場合は?

A1. 原則、月に1回の例会と委員会にはご参加ください。  
興味のある事業があれば積極的に参加してみてください。

Q2. 入会するのに費用はかかりますか?

A2. 入会時に¥50,000 と毎年、年会費が¥140,000 と  
特別会費として¥60,000かかります。

Q3. 年会費は何に使われますか?

A3. 奈良青年会議所の運営や事業費として使用されます。

Q4. 経営者ではないのですが入会できますか?

A4. 入会資格を満たしまちづくりやひとづくりといった  
青年会議所活動は同じ志を持っていれば入会可能です。

Q5. ビジネスにおいて良い影響はありますか?

A5. 新たな繋がりを得て事業を拡大しているメンバーも  
多数います。

一般社団法人 奈良青年会議所 広報誌「まほら」 2020

2020年11月発行 通巻454号

発行：一般社団法人 奈良青年会議所

〒630-8213 奈良市登大路町36-2 商工会議所会館4F

TEL 0742-26-0112

FAX 0742-23-5519

URL <http://www.nara-jc.or.jp>

編集：総務アカデミー委員会

萩原敏明(委員長) 加藤大覺(副委員長) 西弘真(副委員長) 井村高陽(幹事)

坂井勇斗 中井裕貴 林田幸一 藤原秀樹 駒井崇志 新谷静隆 堀田英一 石橋将晃 松本梓 三原賢治

池田将也 石田智康 井本幸 扇大介 吉川裕樹 西屋鋪慎二 大島康孝 胎中謙吾



一般社団法人 奈良青年会議所  
Junior Chamber International NARA

# 新型コロナウイルス対策と奈良の未来

対談

今年新型コロナウイルスの感染拡大をうけ青年会議所の活動も制限せざるを得ず、思いを形にすることが難しい年になりました。新型コロナウイルスの対応にリーダーシップを発揮する奈良市の仲川市長・生駒市の小紫市長のおふたりと、Withコロナの時代のリーダー論や街のあり方について森田理事長が対談しました。

奈良市長  
**仲川げん氏**  
Gen Nakagawa

Guest Profile  
1976年生まれ、立命館大学経済学部卒業。民間企業やNPOでの勤務を経て、09年7月から現職、中核市市長顧問、奈良県市長会会長。



奈良青年会議所 第61代 理事長  
**森田洋平**  
Yohei Morita

Chairman Profile

1980年生まれ、神戸大学経営学部卒業。税理士法人森田会計事務所副所長。2012年入会後要職を歴任。2019年度奈良青年会議所監事・日本青年会議所日本アカデミー委員会副委員長を経て、現在奈良青年会議所第61代理事長。



対談 1

**森田** 奈良青年会議所第61代理事長を務めております。森田洋平です。本日はよろしくお願ひ致します。我々青年会議所は20歳から40歳の若い世代がメンバーであり、経験としてはまだまだ未熟な者が多いですが、勢いや斬新な発想で大切にして新しいことにチャレンジする団体です。私は理事長として、失敗しても良いから次に繋げようという気持ちで、過去の慣習にとらわれず、チャレンジする機会を提供したいと考えています。仲川市長は、奈良市のリーダーとしてどのようなことを意識されていますか。

**仲川** 奈良市長の仲川げんです。今日はよろしくお願ひします。奈良という場所におけるリーダーの役割の中に、海外の方や県外の方のお付き合いがありますが、その中でもいつも再認識するのは、奈良はただの町ではない、普通の町ではないという特殊性です。何か一つのテーマなり課題があった時に奈良はどう動くのかとか、奈良ならどうという答えを用意しているのかを問われる部分があります。県庁所在地であり、古代からの歴史が脈々と存在する奈良のリーダーとしては、歴史に学びながら未来を見通す、長い時間軸に立つて、より一歩遠いところに釣り糸を垂れるようなビジョンを持ち合わせていることがすごく大事だと思っています。

**森田** 今新型コロナウイルス対策に全力で取り組む時です。コロナ前がどうだったのか思い出せないくらい多くの変化があり、今年だけで約45億円の補正予算を組みました。9月まで1年の中で4回です。そんなスピードで事業を計画し、実行する。そしてダメであればまたやり直す。こんなサイクルは、これまで経験したことがありません。こんなことをどんどんやっていくという感じですか。

**森田** 奈良JCもコロナの影響で多くの事業が中止になり、本来やりたかったことがほぼできていませんが、緊急事態宣言が発令されたゴールデンウィークにはお弁当のドライブスルー販売を行いました。また、献血の呼びかけ、天候不順により中止にはなりませんが、ドライブインシアター、最近ではデリバリーに対応している飲食店をまとめたチラシを作って配布するなど、新型コロナウイルス対策事業を行ってきました。これまでの「まほろばぎ」のような人が集まるイベントを行い、奈良の良さを知ってもらおうという方法が、今後は変えざるを得ないと思います。

**仲川** 奈良JCは、まさに事業をされている方の集まり

なので、現場の困りごとや、どのような支援が必要か等のポイントを一番「存知だ」と思っています。市役所でも飲食店のデリバリーチラシを見て注文してあります。お店もお客さんもちらにどうても有難い、心のこもった事業です。私も、我々もなるべく現場の声を受けて、プレミアム付商品券や店舗の感染対策、感染者が出た時の事業再開支援金などを行っているのですが、内容の反応を見てやり方を変えていきながら今までも来ています。その中でも事業を断念して店をたたまる方が少なからずおられて、非常に残念な思いがありますし、コロナ終息の見通しが確実に立てられるわけではないので、ゴールが設定できないという悩ましさがあります。インバウンドにより市況が急拡大し、コロナにより急縮小してしまつたので、振れ幅が大きくなつたダメージは大きいですね。しかし、インバウンドを除けば、日本人客についてはほぼ戻つてきているという声も上がっています。そうであればあとは上がるしかないわけですから、持続的にじわじわと成長していくことができるのかなと思っています。

**森田** 秋のシルバウィークは人がたくさんで、飲食店にも人が並んでいました。イメージや心情で人の動きが増えてきているように思いました。

**仲川** そうですね。奈良での感染がしばらく少ないので、奈良であれば大丈夫という考えがあるのかもかもしれません。ただ、お店の方もお客さんが来てくれるのはありがたい反面、来られすぎるのも心配だという二つの気持ちが共存しているようです。今後、日に日に対策方法は確立されるでしょうが、なかなかフルスロットルでお商売ができない厳しい状況は続いていくでしょう。

奈良市は県内で唯一保健所を県から独立して持つという特徴があり、感染者ができた場合は速やかに検査をし、対策を打つという小回りが利きます。補正予算でも保健所の体制強化には相当予算を投じています。できる限りの対策を行い、それでも感染者が出てしまった場合は速やかに対処するという、このサイクルをしばらくやっていくしかないと思います。

**森田** 私は税理士という職業柄色んな中小企業の方とお話しさせていただくことが多いのですが、もつと「安心ですよ」や「来ていただいても大丈夫ですよ」というPRを行政がしていたらと観光客も戻るとも思います。ただ、事業者だけでなく純粋な住民にとっては観光客が来るメリット

JCの会議もそうですが、仕事面ではWeb会議を利用するなど、テレワークが増えてきています。働き方、生活の大きな変革期に差し掛かっているように感じます。

**仲川** 身体の不自由な方や、目的の場所に物理的にいけない方にとっては、千載一遇のチャンスかと思っています。外に出るのが辛い方や、病気を患い外出が大変な方にとっては、電車通勤もとても苦痛でしょう。そういった方々にとっては、一筋の光に思えます。

**森田** 昨年、市役所職員のみならずと合同勉強会をさせていただきました。その中で、行政の方は客観的なデータをたくさん持っているんだなと実感しました。今はインターネットで開示されている情報も多いかと思いますが、そういったデータに基づく課題や問題点をもつと共有していったら我々もピンポイントに課題に向き合える良い事業ができると感じております。

**仲川** 正確なデータや実態をキッチリ把握するということはすごく大事ですよ。行政はそのあたりは確かにたくさん持っていますが、うまく活用しきれていないところはあると思います。年配の方とお話をしていて、奈良は店が閉まるのが早いような昔のイメージが強いみたいで、ここ10年くらい奈良の変化、例えばホテルの数が増えたとか、街のいろんなサービスの質が整ってきたとかをあまりご存じでない方が結構多いんですよ。そういう意味では、もつと情報を出していくこと、そして街の未来につながる具体的なアクションをプランニングするのも実行するのも、官民垣根なく一緒にやっていくことが大切だと思います。イベント的な取り組みももちろん重要なのですが、例えば政策立案と一緒にすると、実際に作った政策は本当に意味があるのか検証してPDCAサイクルを回すなど、ある程度継続的に一緒にやっていくことが良いと思います。例えば奈良市の人口問題でいくと、10年ぶりくらいなのですが転入増になりました。実態は30代後半から40台前半の子育て世代の方の流入がもの凄く増えた一方、20歳から24歳のいわゆる大学などを卒業されたタイミングの方々の流出が増加傾向です。簡単に言うと、子育て世代向けのアピールはうまくいっているのですが、働く場所としては、今は若者たちの選択肢として弱いというのが現状です。その点を改善するためにどうすれば良いか。大きな工場を誘致するよりも、「会社は大阪だけど家は奈良に置いておこう」ということを促していくために、奈良にいてこそコミュニケーションへの所属感があるだとか、自分が生きていくうえで必要な大事なことが得られるだとか、そういう場所を創っていくことが大事なのかなと思っています。この課題に関して何かアイデアはないでしょうか。

**森田** 我々のメンバーには事業主もたくさんいますので会社がリクルートなどをしっかりして働き手を受け入れるということも大切ですが、

が少ないという二面性があります。

**仲川** そのとおりです。我々も修学旅行や観光などに限っては、感染0にはできないかもしれないけれども、消毒などの物理的な対策はもちろん、もし奈良に滞在の中にコロナウイルスに感染した場合の検査の準備や、別枠で宿泊所を確保し滞在していたり、ご家族が迎えに来られるために必要な交通費もお出しします。そこまでの対応をすればいい、できるだけの対応はしていますよと日本中の教育委員会にメッセージを送っています。こういう取組を行っていることを知っていただくことで、事業者だけでなく住民の皆さんにももつと安心していただけたらと思います。

**森田** なかなか知られていないこともたくさんあると思うので、こういった取り組みも行ってますよと広くお知らせしていくことが重要ですね。JCもまだまだ認知度が高いとは言えないので、活動を広く発信するために、YouTubeチャンネルを作りました。その背景のひとつにメンバー減少への危機感があります。今、少子化などどんどん人口が減つていっている状況で、我々のような団体もメンバーが少なくなり、存在自体がなくなってしまうところも出てくると思います。個々に活動するだけでなく、今後ますます市町村とのパートナーシップをしっかりと結ぶことが非常に大事だと考えています。

**仲川** 行政も自分たちだけでできることには限界があるので、様々なところに一緒にやりましょうと声をかけています。例えば水道事業などを県統一でやりましょうと言う話も出ています。特に大きな問題が人口減少で、奈良市だと20年後の新成人は今年の約3分の2になるとみられています。3分の2の人しか社会人にならないとすると、その人数で回せる仕組みにしなければならなくて、今までのやり方で重複したり効率が悪いところは、新しい形を目指していくことも必要です。そういう意味では、市役所を解体していく事も考えなければなりませんし、公務員でないとできない仕事とは何なのかをすることも大切です。例えば、保育園や子ども園の経営を民間にお願いするなどしています。私は「奈良市株式会社」として全体で見ても、くいけばOKだと思われ、もつと言えは「日本株式会社」全体で見たときにこの動きはプラスに

左 上段へ

**森田** まさにJCもそうできて、会社など所属は違うメンバーが集まっているのですが、その中で共通の目標である「明るい豊かな社会」の実現のためにみんな頑張っています。得意分野や専門知識が違うメンバーが集まっていますので、それぞれ持っているものを活かすために自由に動くことで、組織の力を高めることができますし、力のある組織だからこそ社会に奉仕できるのだと思います。

**仲川** JCの活動は足かせがないだけに、もつと斬新で大きな動きをすべきたという要請もあるのではないのでしょうか。ところで、今年の奈良の委員会はどんな構成ですか。

**森田** 街づくり・青少年育成・自己研鑽を考える人材育成・総務系の委員会です。

**仲川** そうですか。例えば、子どもたちの暮らしも昔とは大きく変わってきています。奈良市には、18歳未満の子どものいる世帯数が約3万あります。その内、ひとり親の世帯が約3、400なので、1割を超えています。そうすると、40人のクラスに平均4、5人のひとり親家庭の子どものがいることになる。僕らが子どもの頃は、外から見えていなかただけかか社会の変化です。それに加えてさらに多様な家族の形、例えばLGBTのカップルが養子縁組で子どもを迎えた場合、学校で本当に多様性が担保されて尊重されるかという現状ではまだまだ難しいと思います。青少年だけでなく、あらゆる分野に対して、JCが政策提言や「社会に問う」ことをガンガンやっていただけるとありがたいです。

**森田** 激動あたりがとうございます。問題意識をしつかり持つて考えていきたいと思います。多様性や教育的な観点から、奈良JCでもeスポーツに着目してました。近頃は、真剣勝負に対して批判的な風潮もありますが、勝ち負けにこだわることも大切であり、継続して一生懸命取り組むことの大切さを伝えたいという思いから、eスポーツの催しを考えていました。

**仲川** 実は今年9月末までに奈良市の全小中学生にタブレット端末を配布を完了しましたので、約25、000台が稼働しています。したがって、理論上全員がeスポーツに参加可能です。奈良市のプラットフォームで「よいどん」をかければ、25、000人が「せーの」で勝負できます。「こ」までの規模で行えるのは、日本中でも他に無いのではないのでしょうか。とてもおもしろい試みだと思います。

**森田** 森田 みんなでひとつの思い出を作ることは特に子どもたちにとって大切な





# 小紫雅史氏

Masashi Komurasaki

生駒市長

## Guest Profile

1974年生まれ 46歳。1997年4月 環境庁(現 環境省)入省。2011年8月 全国公募により生駒市副市長に就任し、2015年4月から生駒市長に就任(現在2期目)。

**森田** 小紫市長にお伺いします。地域のリーダーとして大切にしていることを教えてください。

**小紫** 私は、生駒市の職員や生駒市民の方が、こうしたい・こういう街になつたらいいなと思つていることを自分たちで実現してもらえよう、応援することが大切だと考えています。

**森田** 普段であればそういった考え方も成り立つのかもしれないですが、今年はコロナの影響もありましてしつぽダウンで物事を進めないといけな場面もあつたのではないのでしょうか。

**小紫** 災害として僕たちが想定していたのは突発的な大地震やゲリラ豪雨、台風などですが、今回のコロナのように医療的な対応はもちろん必要だけれども、「学校にいけない」とか「飲食店が開けない」とか、そういったじわじわと社会にダメージがあるような「災害」というのは日本全体・世界全体で初めてというなかで、自分たちの頭でしつかり考えて市民の声も聴きながら対応していくとかいうのは、逆に言えば市町村とか自治体の力がすごく試されている時期だと思えます。

**森田** 我々JCは単年度制なので、毎年その年の理事長が年頭に所信を出してそれに合うよう組織を組みますが、それが3月には

## 対談 2



# 森田洋平

Yohei Morita

奈良青年会議所  
第61代 理事長

**小紫** 職員の方で考えると、奈良県のなかで生駒市はどう取り組むのかと、ほかの自治体から問い合わせをいただいたりして、自分たちが率先していろいろやらなければならないという意識はあると思えます。それが市民の皆さんにも派生していくのでしょうか。逆説的に聞かせるかもしれないですが、街づくりに汗をかいてもらつたほうは、その街にずっと住んでくれる。生駒市がすごく大切にしているのは定任意向率。つまり外から移住してきてくれるのはもちろん大切ですが、いま住んでいる人が「生駒良いよね」といって住み続けてくれること。

**森田** そうですね。それは会社や私たちのような団体でも同じで、プロジェクトを任せたり何か役を受けて苦労してもらつたほうが、その時はとても大変だけれど、その分本気になるのでどんどん力も付くし、その力を発揮できるように、また活躍の場が増えるので団体自体の力も付いていきます。

**小紫** そのとおりです。だからこそ、リーダーはリーダーとして本気で役目を果たさないといけないわけです。

**森田** コロナ禍によって大きく働き方や生活のあり方が変わつています。生駒市民の場合はどのように変わつたのでしょうか？

**小紫** 大阪に通勤する方が多いため、特に緊急事態宣言の時は電車に乗つて人たちが激減しました。今は落ち着いて大阪に通う方も増えていますが、一度経験したからには、チャンスに変えていかなければいけないと思つています。今の時間だけを取り取ると、生駒の市民と街づくりはすごくダメージを受けていますが、逆に今まで生活のほとんどが大阪だったサラリーマン層の人が、嫌でも家の近くや地域で過ごす時間が増え、家庭で家族と向き合う時間が増えました。これは絶対にプラスだと思えます。

**森田** 働き方改革は、残業を減らしたり、テレワークをすることが大事なのではなく、残業を減らして空いた時間、テレワークⅡ家で仕事をする場合、家や地域での暮らし方まで考えることが重要で

**小紫** できた時間を地域のためにどう活かすのか、それらを考えて初めて働き方改革だと思えます。

**森田** コロナで大きく変えざるを得ないというか、所信通りに事が進まなくなつてしまいましたが、逆に現場対応力、突発的なことが起こつた時にどう対応できるかが問われています。分野ごとの委員会を作り、委員長を中心に委員会のメンバーが事業を構築していくのに対し、理事などが意見をすることでより良い事業の構築をするのが本来のあり方ですが、緊急事態宣言が全国に発令された頃から、トップダウンの形で対策事業を構築していききました。

**小紫** こちらこそありがとうございます。あの事業は、もちろんプロの作つた美味しい料理を安く手軽にお弁当の形で食べられてお得だといふことでもあると思えますが、生駒市には街のために何かをしる人をお互いに応援し合う風土があります。だから皆さん積極的に活用されたんですね。

**森田** 当時の最大限の数をご用意していたのですが、おかげさまで売り切れとなつてお叱りを受けたら(笑)アドバイスを頂いたり、様々な声の届きにも直接寄せていただきました。日頃から、街に対しての想いが強いからですね。

**小紫** 生駒市独自の新型コロナウイルス対策としては、どのようなことをされたのでしょうか？

**森田** 補助金などは様々にありますが、やはり自粛生活で家に閉じこもりがちになるので、コミュニケーションを確保するには何かが必要かということをとて苦勞して考えました。生駒市の生命線はコミュニケーションです。高齢者の体操教室が80箇所ほどあり、普段であれば集まることのできるのですが、自粛生活では一人暮らしの方がずっと家にこもつてしまい、人と話すこともなくなつてしまつて。例えば図書館を早々に休館にした自治体が多い中、お叱りの声もありましたが、生駒市はギリギリまで開館してました。学校も休校してしまいましたが、子どもたちが本を読める機会は残さなければいけないということで、学校の図書室だけは開け続け、校庭の開放もギリギリまで実施しました。子供だけでなく、高齢の方にとつても図書館は憩いの場です。密になるような閲覧スペースは閉じた上で、貸し出しだけは続けました。行政の腕の見せ所はギリギリのところをどう探るかです。それが行政としての責任です。

**森田** 一方で、すべての高齢者施設などに職員を視察に派遣しました。感染防止のためのいろいろな指摘をすることができ、同時に情報を集めることもできました。そしてこのようになり、同時に情報を発信することで、「医療・経済・教育・暮らし様々な面を配慮しなければいけない。いろいろな立場の方がいるんだ。」と認識してもらつてしまいます。感染防止が経済活動かの単なる選択ではなく、両者をギリギリで両立させる必要があるんです。このように人の心をつなぐことも行政の仕事だと思えます。

**森田** そうですね。どんな事業をするにもリスクがあるので、そこで中止にするのはかたんなのですが、やはりより良いまちづくりのために活動をするべきJCがすべて「中止」というわけには行きません。

**小紫** 生駒は昔からベッドタウンで産業はあまり強くないというイメージなのですが、ネット環境などを含めて働き方が変われば、ベッドタウンではなくなつていくのではないのでしょうか？

**森田** あらたな街のあり方へ、ビジョンが広がつていきますね。そのようなかで、今後さらに生駒市役所と奈良JCが連携していけることや、ご要望があればお聞かせいただけますか？

**小紫** もう本当に是非ご協力頂きたいと思つています。先日していたいたドライブスルーテイクアウトなど、行動力とスピード感を感じますがJCです。コロナだから危ないのではないかと慎重になる団体たのは、本当にすごいなと思つています。ドライブインシアターもすごく面白いし、生駒市内でも企画して頂きたいです。

**森田** そのようなご提案や試みに対して、行政や市民は応援したいと思つているし、応援してくれる気質のある街ですので、生駒市を舞台に、どんどん挑戦して頂きたいと思えます。

**森田** 人口減少、少子高齢化はベッドタウンのみならず今後の日本全体の課題だと考えます。

**小紫** 生駒市は来年市制50周年を迎えますが、人口がその間に3倍以上増えて街としては大きく発展してきました。それが近年、ベッドタウンの宿命なのですが、人口がちよつとずつ減り始め、高齢者が増えていきます。

**森田** そうですね。生駒市民の方の「こんな街になつたらいいな」という思い、例えば子育てでこんな取り組みやネットワークがあつたらいいなとか、高齢者の健康づくりでこんな場所があつたら、教育面でもう少し外国の人と触れ合う場所があつたら、こんな図書館があつたら…とかいろいろんな、こんなことしたらいいな「こんなのがあつたらいいな」というのを単に行政に頼るのではなくて、自分たちでどんどんやってくれるようになること。それを行政や他の市民が全力でサポートすること。

**小紫** これを生駒市では「自治体3・0」という言い方をしていますが、市民に汗をかいてもらつて進める街づくりを目指して、実際に進めています。こんな自治体はほとんどないはずですか？

**森田** 「市役所は全力で応援しますよ」と発信し続けています。例えば、イベントの内容は自分たちで考えてもらつて、私たちは広報の面で応援したり何かあつた時の保険をかけた。また、コンサートをやりたいという場合はさすがに0円ではできないので、まずは練習するときに当日の会場代を負担するなど、最低限の費用を用意していただきます。結果的に、市がコンサートをを行う時と比べると予算はほとんど変わつてないのに、むしろ開催されるコンサートの数は増えていて、予算を効率的に使っています。

**森田** 市民の皆さんのこんなことをしたいという思いがあつて行動に起こしてもらつて初めて、前に進むわけですね。

**小紫** 生駒市は、従来から住民票をコンビニで取れるようになるというサービスなども早くからされていたような気がしています。そういう文化というか風土というか、生駒市は進んでいるよという自負みたいなものがあるのでしょうか？

**森田** ならばそこには持続可能性という意味で課題が残りますね。おつしやる通りなんです。私たちが高齢者福祉からスタートしていますが高齢者だけ、女性だけ、という近い関係のメンバーでできたコミュニティがどうしても多くなります。そのコミュニティをもつと良くするには、高齢女性のコミュニティでは力仕事ができないので、「おじいちゃんあなたの方が必要です、力を貸してください」とアプローチを行つたり、普段は高齢者中心のコミュニティ施設で子育て層がお昼ご飯を食べられる企画をしたり、読まなくなった漫画を持ち寄つて文庫のように公開することで、子供やその親の世代も参加してもらつたりなど、いろいろな世代を巻き込んでいく、組み合わせることが必要だと思えます。

**森田** 行政というと、もう少しインフラとかハコモノとかマクロ的なイメージを持つのですが、お話を伺つているとすごくミクロというか草の根的な話が多くて印象的でした。住民の皆さんが主役だということが、強く伝わつてきました。皆さん定住したくなりますよね。

**小紫** すごく贅沢なことを言えば、そういう街だから住みたいですよという人に引越してきてもらいたい。自分たちも何か街のためにできることはないかと応援したりすること、それが自分たちの子供の成長、仕事や暮らし方にとつて魅力的だなあととらえてくれる住民や企業などに引越してきてもらえると、とっても有難いですね。

**森田** そういった方は街のこともしつかり発信してくれるでしょうし。

**小紫** そうなんです。市民に生駒市の街づくりに賛同していただき、市民から市外の方たちに生駒市の魅力を伝えていただき、その考えに賛同していただいた市外の方々に引越して来て頂くことで、同じ考えをもつた方たちが集まってくるという流れが理想なんです。今はまだ、生駒市の人口が増えていくわけではないのであまり大きいことは言えませんが、こうやっていい街になつていきたい。

**森田** それは組織も同じですね。コロナ禍の中メンバーを増やすということもとても大変なのですが、一生懸命活動をして、本心に心から自分たちの組織を好きになれば、良い組織が育つていく。そうすれば必ずと一緒に行きたいという仲間が増えていってより良い組織に育つことができると思えます。

**小紫** そうですね、大きな良い組織を育てて頂き、私達の街づくりに力を注いで頂くことを期待しています。



# 新入会員紹介

本年は毎月入会を実施しました。



**坂井 勇斗**

1990/4/12  
勤務先：  
富士興業  
株式会社

兵庫県で粉体充填などの加工業  
をしています。奈良青年会議所  
の活動を通じて、様々な方と会い  
見識を広め自分を成長させて  
いきたいです。  
宜しくお願い致します。

1月入会



**中井 裕貴**

1987/7/20  
勤務先：  
喫茶アーガイル

大宮で父親と喫茶店を営んで  
おります。今年は新入会員が  
特に多いとの事なので、新入  
会員同士協力し、JC活動に  
邁進していきたいと思ひます。

1月入会



**林田 幸一**

1989/11/17  
勤務先：  
株式会社  
啓林堂書店

奈良県内で書店を6店舗運営  
しております。奈良に根ざす  
企業として、地域の魅力の発信  
に貢献したいと考えておりますので、  
何卒よろしくお願ひいたします。

1月入会



**藤原 秀樹**

1981/9/20  
勤務先：  
まんせい労務  
サポートオフィス

奈良にどう貢献できるのかを  
考えながら取り組んでいきたいと  
思っております。  
まだまだ分からない事だらけで  
すが今後とも何卒宜しくお願ひ  
致します。

1月入会

# 新型コロナウイルス 対策事業

## Save the Nara プロジェクト事業

ドライブスルー テイクアウト



不要不急の外出自粛などにより経済的  
打撃を受けている飲食店を応援できれば  
との想いから、地域の飲食店の皆様の  
商品をドライブスルー形式で販売することを計画、実施。万全  
な感染症対策を施した中、生駒市による見事な広報もあり  
予想を上回る多くのお客様がお越し下さり、飲食店の皆様を  
微力ながら応援することができました。

## デリバリーチラシ作成事業

深刻な打撃を受けている飲食業界を支援するとともに、飲食店  
を利用したい方々の感染リスクを減少させたい。そこで私達は、  
デリバリー可能な飲食店を地域の皆様に知ってもらうための  
飲食業デリバリーチラシを作成。紙媒体を利用したチラシの  
配布やSNS用チラシの配信を行いました。

## 奈良JCチャンネル

新型コロナウイルスによる自粛生活等のためにWEBを用いた情報発信の重要性が高まる中、奈良青年会議所の  
活動を社会に向けてPRするための発信ツールとして、Youtubeに「奈良JCチャンネル」を開設致しました。

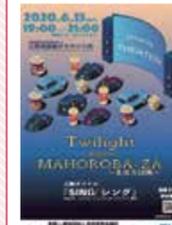
# 献血事業



緊急事態宣言の発令中、不要不急  
の外出制限により献血協力者の  
深刻な減少が続いておりました。  
奈良青年会議所では、少しでも  
血液不足解消に協力するため  
献血事業を実施。  
悪天候の中、地域の方々のご協力  
もあり、想定を上回る数の献血  
協力者様に御参加いただき、  
奈良県内の献血イベントとしては  
高い水準の献血率を達成する  
ことができました。

## Twilight Cinema

～まほろば座～ (雨天中止)



緊急事態宣言解除後も第2波の危機が懸念され、  
予断を許さない状況でした。私達は、地域の皆様  
の自粛疲れを緩和できればとの考えから、ドライブ  
インシアターの実施を計画。屋外の広場に大型  
スクリーンを設置し、各位が自家用車の中から  
鑑賞していただくことで、感染のリスクもストレス  
も無く楽しんでいただけるよう計画致しました。

# 卒業生紹介



**猪奥 美里**

濃密な時も味わえましたが、  
十分関わることのできなかった  
時も多く、もっとやれば良  
かったという思いです。メン  
バーの皆さん・奈良JCへの  
感謝の気持ちと、思いをもって。  
ありがとうございました。



**池田 泰章**

長い間お世話になり本当にありがとうございました。多くの新しい出会いと経験をさせて  
いただき、また自分自身も大きく成長させて  
いただいた奈良青年会議所には感謝して  
おります。また、私と関わっていただいた  
多くの皆様にはJC活動全体を通して何かと  
ご迷惑をお掛けしたこともありましたが、  
多くの人達に支えられ無事卒業できること  
に感謝申し上げます。  
卒業してもJCで培ったことを新たなステージ  
でも活かせればと思っております。  
そしてこれからも宜しくお願いいたします！



**池淵 泰正**

JCでたくさんのごことを学ぶ  
ことができ、とても感謝して  
います。お世話になりました。  
ありがとうございました。



**西田 剛**

大変お世話になりました。  
JCでの経験と人との出会い  
を大切にこれからも頑張っ  
ていきたいと思ひます。  
有難うございました。



**萩原 敏明**

2010年入会から、振り返れば  
30代は青年会議所を一生  
懸命したなと思ひます。出会  
えた先輩、現役の仲間達には  
多くの事を教えて頂きました。  
最後は感謝しかありません。  
有難うございました。



**森田 洋平**

JCの活動を通して、本当に  
いろいろなことを経験させて  
いただきました。今までの  
すべての出会いに感謝しな  
がら、地域に恩返しをして  
いきたいと思ひます。



**安井 友一**

2018年に入会させて頂き多くの  
経験と学びを体験させて頂き  
ました。奈良青年会議所で経験を  
活かしてこれからも地域活動や  
社会奉仕などの活動をしてい  
きたいと思っております。3年間  
でしたがありがとうございました。



**山本 純弥**

初年度は色々と衝撃でした  
(笑)長いようで短いような  
4年間でしたが、JC活動で  
得た経験を今後活かして  
いきたいと思ひます。



**駒井 崇志**

1985/4/25  
勤務先：  
積水ハウス不動産  
関西株式会社  
奈良営業所

近鉄奈良駅近くで従事しており  
ます。不動産の売買メインですが、  
賃貸も取り扱っております。  
出合いを大切に、地域に貢献  
できるよう努めます。  
宜しくお願いいたします。

2月入会



**新谷 静隆**

1995/12/14  
勤務先：  
奈良エナジー  
株式会社

新大宮駅付近で、事業者様に  
特化した新電力販売をしており  
ます。年齢は24歳で3児の父  
です。奈良青年会議所を通じて  
様々な方々と共に苦楽を過ごして  
成長していきたいと思っております。

4月入会



**堀田 英一**

1984/10/1  
勤務先：  
堀田電工

はじめまして。私はJC活動  
を通じて、出合いや考え方など  
様々な事を学び、地域の為  
また自己の成長の一つとして  
活動していきたいと思ひます。

5月入会



**石橋 将晃**

1983/10/14  
勤務先：  
ばし造園

京都府木津川市で植木屋を  
させていただいております。  
よろしくお願ひ致します。

7月入会



**松本 梓**

1985/11/21  
勤務先：  
チアフル  
株式会社

奈良県産の薬草・ハーブを  
使った入浴剤・石鹸・などの  
企画販売しています。奈良を拠  
点に活躍する同世代の皆さま  
との繋がりができればと仲間  
に入れていただきました。  
よろしくお願ひします。

7月入会



**三原 賢治**

1981/10/20  
勤務先：  
amanojack  
design  
(パンダ合同会社)

奈良は猿沢池付近でグラ  
フィック・webデザイン事務所  
を運営しております。色々な方  
とお会いし、勉強させていただ  
ければ幸いです。  
宜しくお願い致します。

7月入会



**池田 将也**

1986/3/15  
勤務先：  
やまと技建

奈良市で水道工事業を営んで  
おります。これから奈良JCを  
通じて奈良の色々な面に携り、  
色々な事を学んでいきたいと  
思っております。  
宜しくお願い致します。

8月入会



**石田 智康**

1986/12/27  
勤務先：  
大石防水工業

奈良市にて防水工事業をさせて  
もらっています。  
色々な方とお会いし勉強させて  
いただけたら幸いです。  
宜しくお願いします。

8月入会



**井本 幸**

1991/6/28  
勤務先：  
奈良テレビ放送  
株式会社

奈良テレビで営業をしながら  
アナウンサーをしています。青年  
会議所での活動を通じて大勢  
の方とお会いし・さらに見聞を  
広め、放送人として育ててもら  
った奈良に恩返しができるよう  
頑張ります。

8月入会



**扇 大介**

1997/2/21  
勤務先：画家

生駒市出身で、日本画家として  
活動しています。JCでの活動と  
出合いを通じて奈良を盛り上げ、  
個人としてもさらに成長でき  
るよう努めて参ります。  
宜しくお願いします。

8月入会